



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 エイチ・エス・アール	代表者	名嘉村 博	法人・ 事業所 の特徴	地域と共に医療・介護の協働連携で、笑顔の絶えないチーム作りを目指します。いかに も、誰にでも丁寧な対応と言葉使いをこころがけ、通い、泊まり、訪問介護、訪問看護 を實踐し、住み慣れた地域で、利用者のみなさんが心豊かに、最期まで住み遂げられる ように支援します。
事業所名	看護小規模多機能型 居宅介護末吉	管理者	儀間 明子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	2人	人	1人	1人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	<ul style="list-style-type: none"> 看護小規模多機能型居宅介護計画を共有し、スタッフが計画に沿ったケアが実施できるようにする→通い、訪問、泊りのケア表を改善、修正する。計画の見直し日時を設定する。 看護・介護の協働として、1日のケア計画（ケア表）に医療的な観察事項を記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ケア表をはじめ、帳票類も何度も見直しをし、改良してきたが、まだまだ改善が必要だと思う。 多様な勤務時間がある中で、日々の業務の中から、話し合いをする時間を作ることが難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者把握のために取り組んでいた、フォローチャートが実際活用できるかを検討し、そのうえでそのフローチャートの改善に取り組んだ方が良いと思う。 家族からの伝言のノートについて、業務負担にならないようにすすめていけたらよいと思う。 成年後見制度が必要な方がいない場合で、研修を実施している場合は、何とかできている。の評価でもよいと思う。 連携・協働では、出来ていない、の自己評価が多かったが、所長が地域清掃に参加していたし、結果的に中止になったが、見守り隊の話し合いにも参加意思があったので、できている、の評価で良いと思う。 	<p>月1回開催している全体ミーティングで、前年度に立てた改善計画に関する取り組み状況を話し合い、運営推進会議を活用し報告する。</p>
B. 事業所の しつらえ・環境	<p>例えば「介護でお困りのことがありましたら、ご相談ください」等の看板？のようなものを設置する</p>	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、建物内に入ることに制限があり、看板の作成・設置はしなかった。 看板の設置はできなかったが、 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内は、清潔な空間になっていると思います 事業所内での会議開催が難しい状況が続くと予測されるの 	<p>施設敷地内にある菜園での野菜づくりを継続する。また、花壇の手入れも定期的に行う。野菜づくりや花壇の手入れを利用者</p>

		「相談窓口のお知らせを施設玄関に掲示した。	で、運営推進会議の時に施設内の見学が出来るようなスケジュールを検討する。	様との活動の一環として行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・名札を常に携帯し、いつでも提示できるようにする。 ・建物内に、職員の写真を掲示する。 ・イベントの年間計画→施設内でのイベントに加え、地域行事、地域清掃、災害訓練、認知症カフェ等も計画に加え作成する。 ・with コロナでも家族がイベント参加できるようにする(ZOOMや動画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、地域とのかかわりをもつための方法を思案したが、多くは実現しなかった。 ・看板の設置はできなかったが、「相談窓口のお知らせを施設玄関に掲示した。 ・末吉の地域清掃へ参加した。 ・包括主催の勉強会で、看多機末吉の事例発表をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、事業所に近隣の方が訪れる機会がなかった ・コロナ禍が今後も続くことを想定した計画を考えた方が良いと思う。 ・看多機の知名度が低いと感じている。 	法人の広報誌で、積極的に看多機末吉の活動を発信する。地域の病院や居宅事業所へ、説明にうかがったり、包括主催の勉強会へ積極的に参加し、看多機の知名度を上げる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域包括支援センターとの連携、地域包括支援センターでの会議への参加。	・地域包括支援センター松島から情報をもらい、多くはなかったが、会議や清掃に参加できた。	包括松島との連携が出来ていると思う。今後も継続していく。具体的な地域の困りごとへの活動ができれば良いと思う。	「地域見守り隊」への参加
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の進め方の検討→役員の方々へ、話合いたい事例等の議題をもらえるように、会議前に発信する。会議の中で話し合いの時間を設ける。 ・スタッフの運営推進会議の理解→スタッフも輪番で参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が長引き、委員の方の参加が難しかったので、事例検討が出来なかった。 ・ZOOM操作が不慣れで、上手く活用できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ参加が出来ていたと思う。 ・運営推進会議での意見を改善しようとする姿勢が感じられた。 ・運営推進会議の議題に「事例検討」を取り上げてください。 	・地域の心配な方の事例が抽出しやすくなるよう、また、早期退院し地域(自宅)へ戻せる支援ができるよう、運営推進会議の委員へ、地域民生委員さん、那覇市立病院の相談員さん、退院支援看護師さんに参加いただく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の意見、備蓄の基準に沿って、備蓄する。 ・施設規模に合った、地域の方の受け入れ人数や備蓄について、整備していく。 ・備蓄状況を運営推進会議でお知らせする。 	・備蓄基準が定まっておらず、まだ整備が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄状況の報告が運営推進会議で確認でき、頼りになると思いました。 ・地域の方に、訓練へ参加してもらうための工夫が必要だと思います。 	防火訓練に加え、災害訓練も計画し実施する。BCPの整備を進めていき、概ね3割以上の完成を目指す。